

# 笑工房ニュース

NO.53 10・6・1 大阪市淀川区木川西2-19-10  
電話06-888-1788 発行責任者 小林康二

## 松枝独演会、三若二人会

### 前売券格安で提供、至急ご注文を

同封チラシの通り、毎年恒例の笑福亭松枝の独演会が、今年はワッハ上方で6月20日午後2時開演で、また、桂三若は東京から雷門獅籠をゲストに迎えて「三若・獅籠の危険なふたり会」を、天満天神繁昌亭で7月17日(土)午後6時30分開演です。

入場料は、松枝独演会が当日券3千5百円、前売券3千円。三若の「ふたり会」が当日券2千5百円、前売券2千円ですが、笑工房で一部助成し前売券を各3百円引で取り扱います。

ご注文は、住所、氏名、電話番号、枚数を記入しFAXで公演1週間前の午前中に笑工房へご注文を。

## チラシ的中学校の問い合わせ殺到

### だが現実には厳しく

マンガ家で株主の高宮信一さんの協力を得て、イラストをふんだんに使ったチラシ「体育館で生の落語会を」を作成し、四月末に1万3千の小・中学校に郵送したところ、1カ月間で一〇五件の問い合わせが入った。とくに郵送直後の数日間電話が殺到。

売上の60%以上を占めてきた教育関係の受注が激減し、苦戦が続いている笑工房だが「この調子だと低迷している学校・PTAで今年は……」と胸ワクワクで電話の応対。ところが受話器の向こうからは「子供が減って、予算が……」「自治体の助成が削られて……」等々、資金不足で悩みの相談ばかり。

そこで「若手の落語家で古典落語なら格安でも可能……」と説得するが、「二〜三万円の範囲でなんとか……」等、商談の多くが不成立。トホホホ。

合更ながら、現実の厳しさを感じている今日この頃でございます。

## 組合関係は順調

### 「労組五月に12公演

教育関係に比べ、労働組合関係の受注は順調で、今年も情報労連N組合M本部から四月に四講演。これで四年連続の合計16講演。しかも「来年もぜひ笑

工房さんで」等、固定客が増えています。

また、過去に講演依頼があった電力労連十労組から、五月の支部新役員研修会に小林の講演八本、ナオキの漫談四本、計十二本の注文があり、これだけで売上げ一六〇万円也。一〜四月は赤字でしたが五月は確実に黒字です。株主の皆さん喜んで下さい。

感想文も「目からうろこ」「組合がよく分かった」等々好評。そこで、秋の商戦は金持ちの労働組合をターゲットに、再度、高宮画伯に依頼し「組合集会に団結の笑いを」の宣伝用チラシを制作中。

果たして、柳の下に二匹目のドジョウが居るか？居ないか？。結果をお楽しみに。

## 『活かそう労働組合法』好評で改訂版

### 執筆者割り引きでお徳

小林康二著の労働組合法解説書『活かそう労働組合法』すく役に立つ組合活動の手引き』が、初版以来好評で版を重ねて来ましたが、先般の労組法改正にともない、6月に連合通信社から改訂版が出ることになりました。

労組法の解説と同時に、労働基準法の一部を落語の小咄で面白く説明するなど、分かりやすい実用書として人気があり、小林が講演に行った先でも「この著者と、笑工房の小林さんは同じ人物で……」と驚かれることが多々あるなど、組合の学習テキストとして重宝されている隠れたヒット書です。

定価は消費税別8百円ですが、笑工房に注文いただければ、執筆者割り引きを適用し7百20円と送料でお届けします。ご注文はメールかFAXで。

## 中・高校生むき落語

### 「俺がルールだ」完成

中学・高校生を対象に、人としてルールを守る大切さを語った落語「俺がルールだ」が完成しました。

作者は中学校の現役教師・玉井史朗さん。落語家は桂三金さん(39歳)。関西大学を卒業し地域の信用金庫に務めていましたが、落語が好きで桂三枝師匠に入門して16年。百キロを超す巨体とまん丸い笑顔の落語家で、三金さんならこの落語をきくと「ヒットさせる」と確信してお願いしました。

物語りは、校則も社会常識も無視する暴れん坊の竜二が、子分と二人で爆竹と灯油の入ったビンをさげ「公園の大掃除」に出かけた。竜二の狙いは公園に暮らすホームレスを追放すること。ところが、そのホームレスから竜二は……。